一般質問

12月定例会では14名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにただすもので、下の表のとおり質問を行いましたが、ここではその一部を掲載しました。
※本紙では、今議会で行われた質疑応答を、広報委員会で抜粋し、事項別に整理し掲載しています。個々の議員の発言等、詳しくは２月上旬発行予定の本会議録を図書館など、またはインターネットでご覧ください。インターネットを利用する場合は「かまくら GreenNet」から鎌倉市議会ホームページを開き、会議録検索システムをクリックしてください。

山田　直人………「行財政改革の推進について」「交通政策について」
吉岡　和江………「市民健康づくりについて」
三輪裕美子………「狭隘道路の対策」「市街化調整区域における開発抑制の諸問題」「子どもの居場所」
小田嶋敏浩………「大船駅周辺の整備について」
高野　洋一………「小学校給食調理業務の民間委託について」
早稲田夕季………「交通政策とまちづくり」○パーク＆ライドについて ○ミニバス、乗合タクシーについて○駐輪場について 「いじめの問題への取組」
松尾　　崇………「行財政改革について」
渡邊　　隆………「財源の確保について」○収入確保○所有資産の活用
本田　達也………「海水浴場の運営について　運営委員会のあり方や海開き式における被害のその後、監視業務等、すばらしき海水浴場の未来のために問う」
久坂くにえ………「行政改革について」
藤田　紀子………「やさしい町鎌倉をめざして」○いじめ問題について ○子供の読書について○動物愛護について
萩原　栄枝………「駅中商店街からの課税強化による税収確保について」「バリアフリーのまちづくりについて」
原　　　桂………「教育行政の諸問題について」「男女共同参画について」
前川　綾子………「〝いじめ〟について」

いじめのない学校づくりをめざして

昨年秋以降、いじめが原因とみられる子供たちの自殺が相次ぎ、全国的な社会問題となりました。鎌倉市では昨年十一月に、全児童、生徒、保護者の方々へ教育長からメッセージが送られるなど、いじめへの緊急的な対応がとられました。こうした状況の中、いじめについての質問が行われました。

質問…昨今、いじめにより、子供が自ら命を絶つという事件が連日報道されているが、本市では、いじめ問題についての各学校の実態の把握はどうなっているか。

部長…いじめに関する実態把握については、指導主事が学校訪問をし、聞き取り調査をしている。また、毎年、文部科学省（以下、文科省）で行っている「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」で把握している。

質問…文科省が定めるいじめの定義は「自分より弱い者に対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているもの」としているが、この定義は十分だと思うか。

教育長…文科省が行ういじめの調査において、一定の尺度が必要なことは認めるが、これでは事態が深刻化してからいじめと判定しなければならず、内容的には深刻さをさらに増すので、余り良くないと思う。文科省による一月実施予定のいじめの調査では、定義を改め、幅の広い内容になってくると考えている。

【出席停止について】

質問…文科省の通知の中には、いじめを行う児童・生徒に対して特別の指導計画による指導や、出席停止などの対応が出ている。いじめる子供、いじめられた子供、どちらも心が傷ついており、いじめる子供には必ず心に原因があると思うので、そこを十分指導していただきたいと思うが、いじめる子供の出席停止についてはどのように考えるか。

部長…いじめる子供を指導する場合については、いじめの程度、内容、動機、その子供の性格などを踏まえて教師がいろいろなケースを想定して対応しなければならないだろうと考える。一概には言えないが家庭環境が原因になっていることが多いと判断している。出席停止ではなく、その子供あるいは子供の保護者を含めて適切な対応が大事と考える。そういった対応をする場合には、センターの相談員もいるので、学校と一緒に対応しなければいけないと考える。

質問…出席停止は疑問に思うが、鎌倉市でも可能なのか。過去に例があるか。

教育長…出席停止をしてその子供が普通に戻るのであれば出席停止は可能だが、そういうことをしても実態としては変わらないと思う。それよりも学校の中で、みんなの手でその子供たちのための手だてを考えるべきだと思う。鎌倉市では今までそういう出席停止の例はない。

【メールの書き込みについて】

質問…インターネットに関してだが、メールなどに中傷やうそを書き立てるなど、間違った使い方で悪質ないじめの武器として使われる場合がある。二年前には佐世保で小学生がメールの内容をきっかけに同級生を殺害するという事件が起こった。インターネットは生活に必要不可欠で便利なものだが、その使い方には倫理観が大切だ。教育委員会ではどのように考え、授業ではどのような指導をしているか。

教育長…中学校の生徒指導担当教諭の朝の仕事が、出勤してまずパソコンを開き、そういう書き込みがあるかどうかを確認することから始まるということを聞いている。ご指摘のあったようなことが教育委員会、学校としての最大の課題だと考える。

【いじめ防止への対応】

質問…十一月二十九日に教育長から、いじめ防止の緊急メッセージが出された。これは、いじめられて悩んでいる子供たちに対し、自分一人で悩まないで、まず相談をしてくださいという内容だったと理解している。このようなメッセージも出されたが、教育委員会としては増加しているいじめ問題に対して防止の指導をどのようにしているのか。

教育長…メッセージについては、一般の市民の方から数件の問い合わせがあり、関心をもっていただいたのだと思う。教育委員会の対応としては、文科省からの、いじめの問題への取り組みの徹底についての通知を受け、すぐに二回にわたる校長会において協議、指導の徹底を図った。

質問…いじめは当事者である子供がどう考えるかが重要で、学級会などで子供に考えさせる時間を多くつくるべきだ。いじめをなくすために、生徒の知恵を生かせば大きな効果を得られると思うがどうか。

教育長…学級活動などの中で生命を尊重し、他人を思いやる心の教育の充実に努めていかなければならないと考える。また、先生、親との関係でなく、子供同士で、考えさせる必要があると思う。

質問…いじめを解決できない場合、一方が転校するという解決策もあるが、鎌倉市でもこのような方法をとったことがあるか。

教育長…保護者から相談を受けた校長が、子供の様子や周囲の状況から判断し、区域外への学校の就学や転学を必要と認めた場合は、教育的な配慮として認めている。他市からもそういう状況で転校してきた子供たちを受け入れている。

質問…政府の補正予算案に緊急の対策として、相談体制の強化が盛り込まれているが、本市の状況はどうか。

部長…現在、中学校九校にスクールカウンセラーを配置している。今後小学校にも配置するように努めていきたい。

質問…子育てを施策の柱に掲げる市長として、子供の体と心を健やかに育てるために、家庭や教育現場をどのような姿勢で支援しているか。

市長…いじめ、児童虐待等、非常に深刻な問題が多く、私も大変心を痛めている。一つにはコミュニケーションの欠如があるのではと思っている。また、他人の気持ちを思いやる心や、他人を理解する力が足りなくなっているのではと考えている。教育委員会との連携はもとより、家庭、地域、行政、社会全体が一体となり努力していかねばならないと考える。

七里ガ浜パークアンドレールライド

交通政策の取り組みを問う

平成十四年度に設置した鎌倉市交通政策研究会において、公共交通への転換策、自動車利用のコントロール策、歩行居住環境の向上策を基盤とした施策の組み立ての検討をするとともに、二十の施策の検証を行い、平成二十年度末を目途に新たな施策を含む提言書の策定を目指しています。

このような中、今定例会では、今後の交通政策の取り組みについて次のような質問が行われました。

質問…現在二十の施策の検証を行っているが、まだ、検証計画そのものが八つほど未実施の状況であり、その進捗状況はどうか。

部長…七里ガ浜パークアンドレールライドなど五つの施策については、平成十三年度から順次実施しており、本格実施していない鎌倉霊園パークアンドバスライドなど七つの施策についてはこれまで社会実験を行い、課題などの把握に努めてきた。また、歩行者尊重道路の整備については、交通規制を行うなど、生活道路は改善されるが、幹線道路の混雑が増すことが予想されるので、線的な施策から面的な施策へと議論を拡大させ未着手の八つの施策の検証を行い、平成二十年度末までに交通政策研究会の提言により一定の結論を導き出したい。

質問…交通政策の最大の市民満足度のポイントは、交通渋滞の対策であるが、その取り組み状況はどうか。

部長…右折レーンの新設などの交差点改良工事や、交通流量を考慮した信号現示の変更などにより、交通環境の改善に取り組んでいきたい。

質問…信号現示については、県警の仕事であるので、県警や県との調整はどうなっているか。

部長…道路管理者及び交通管理者との協議・調整は欠かすことのできないものと考える。交通マスタープランや交通需要管理施策の検討に際しては定期的に会議に参加し、意見をいただいている。

質問…パークアンドライドの実施状況及び検証をどのようにしているか。

部長…パークアンドライドの実施日の見直しにより平成十六年度の実績より平成十七年度は、約一・五倍の増加となっている。さらに本年度は十六年度の約二・四倍を見込んでおり、施策が徐々にであるが、浸透してきていると考えている。

また、今後も適地を検討しながら、パークアンドライドの拡大の検討を進め、公共交通機関への転換を市民、来訪者に啓発していきたい。

質問…平成十八年十一月末の利用台数は、約五千五百台だが、本市に年間千七百万人の観光客が訪れるが、この利用台数をどのようにとらえているか、また、実績が上がらない要因は何か。

部長…本市の交通量からすると、まだまだ利用者は少ないと考えている。その要因としては、目的地までの車の乗り入れが可能なことから、目的地から遠い駐車施設では利便性の面で利用が少ないと考えている。

質問…フクちゃん号は国の補助事業であり、平成十八年十二月に期限が切れるが、その改善策は考えているか。

部長…フクちゃん号の空席が目立つことは確かだが、利用現状調査の結果、平日の状況をもとに観光ルートを結ぶ循環ルートを検討している、何とかフクちゃん号の利用を図っていきたい。

質問…鎌倉西口線のミニバスを昼間だけ住友常盤住宅地に乗り入れてほしいとの地元の要望が約九割ある中、一度は実験運行を行ったにもかかわらず暗礁に乗り上げていると思うがどうなっているか。

部長…住友常盤住宅地内も非常に高齢化が進み事業の必要性の観点から市としては積極的に取り組んでおり、地元との話し合いをするとともに関係事業者との協議・調整が重要と認識している。

質問…乗り合いタクシーの十九年度の実験導入の事業者との進捗はどうなっているか。

部長…タクシー、バス事業者も含め協議をしている、また住民アンケート等をもとに事業化に向けて協議している。

大船駅東口再開発事業　市民・権利者と十分な協議を

本市では、再開発事業第一地区（平成四年完了）に引き続き、第二地区の早期事業化を目指しており、今年度中の都市計画変更の手続き完了を予定しています。今定例会では、この事業について質問が行われました。

【意見書について】

質問…地区計画案に対し、権利者の方から意見書が提出されたと聞いている。意見書の軒数と賛否の内訳を教えてほしい。

部長…軒数で二十五軒、人数にすると三十一名の権利者から意見書が提出されている。内訳は賛成が一軒一名、反対が二十三軒二十九名、その他が一軒一名である。

質問…この再開発事業の総権利者数と、総軒数の数は。

部長…意見書提出の時点で、軒数が六十二軒、人数が七十七名である。

質問…そうすると半数近くの方が反対の声を上げているという状況である。今まで七割以上が賛成と説明されていたから、状況が一転して大きく変わってきたと捉えるべきだ。

意見書を見ると、現在の計画案では営業や生活設計の見通しが全く立たず、これではやっていけない、という声が伝わってくる。このような中で、今年度内に都市計画変更の決定をしていいものかどうか、見解を聞きたい。

部長…この都市計画変更の手続きを今年度中に完了させ、次の段階である事業計画策定の作業の中で権利者の方と具体の条件面の協議を十分に行い理解を得ていきたい。

質問…事業計画策定の段階へ進むと後戻りできない。市は十六年度の決定を権利者の同意や協議が調っていないと先送りにしてきた。今もまだ調っていないという認識に立ち権利者との話し合いを詰める必要があると思うが市長はどうか。

市長…商売をされている方の不安が非常に大きいことはよく承知している。しかし、現状のままではなく何とか開発をしなくてはいけないという思いを強く感じている。地権者の方、市民の方の声を受けながら進めさせていただきたい。

【権利変換（※文末参照）について】

質問…十七年十一月に示した権利変換率一・七七という数値は根拠に基づき、詳しく正確に積み上げ算出されたものと理解してよいか。

部長…その時点で最大限努力して想定できる数字を基に一・七七という提示をした。

質問…今後、より正確性を高め、権利変換率を高めるため努力していくだろうが、昨今の経済情勢から見ても、数値が大幅に増えるとは思えないからこそ権利者は不安である。今ここで拙速に都市計画変更を決定すべきではないという声を上げていると思わないか。

市長…東口の再開発そのものに対しては賛意を得ていると考えている。今の時点で、この権利変換率に十分に満足していただけているとは思わないが、理解を得られると確信して計画を進めている。

【公共公益施設整備について】

質問…公共公益施設整備に当たり当事者である市民の声を反映させる努力は行ってきたのか。

部長…公共施設については庁内の検討委員会で検討している。公益施設に関しては今後市民の要望や意見を、まず、アンケートをとり把握したい。

質問…アンケート時期はいつか。

部長…一月から始めたい。

質問…一月に調査を始め、その結論が今年度中の都市計画変更手続きに間に合うのか。市民や権利者の声を聞く必要があり、公共公益施設の面から見ても拙速に進めるべきではないと思うがどうか。

市長…平成二十五年竣工を予定しており、平成二十五年をにらんだ施設を導入すべく市民の方の意見を聞きながら公共公益施設を決定していきたい。

※権利変換…再開発事業において権利者が従前所有していた土地建物の権利を新たに整備される土地建物に関する権利に置き換えること。

大船駅東口再開発事業完成イメージ図

行財政改革の推進を問う

本市では、行政経営戦略プランを本年度四月に策定し、行財政改革を推進しています。今定例会では、そのさまざまな課題について質問がありました。

【収入確保】

質問…夕張市の財政破綻の問題が新聞などで取り上げられている。財政再建団体とは何か。また鎌倉の状況はどうか。

部長…実質収支比率がマイナス二十％を超える団体のことである。本市の十七年度決算における実質収支比率はプラス四・四％である。

質問…本市も福祉関係経費の増加で財源不足が見込まれ、今から財源確保を真剣に考える必要がある。本市の特徴を生かし、観光産業の振興を提言したい。検討されていた観光協力金の状況を聞きたい。

部長…協力体制や徴収手法等、課題が多く実現に至らなかった。現在は全国の協力金の例を調査している。

質問…難しい面もあるが検討してほしい。観光産業振興について、トータルプロデュースできる人材や、専門部の設置が必要ではないか。

市長…指摘を重く受け止める。

質問…大船駅の駅ナカ商店街については税法上公平性に欠けていると感じるが、課税状況はどうなっているか。

部長…鉄軌道用地として、固定資産税において三分の一の額で評価している。総務省では、駅ナカ課税強化を検討しており、今後改定予定の評価基準にのっとり、評価の見直しを行わなければならないと考えている。

質問…駅の外の大船駅ルミネビルの課税状況はどうか。

部長…大船駅舎と同様に鉄軌道用地として課税している。

質問…駅の外にある百貨店が鉄軌道用地とし[illegible]税であるのは[illegible]

部長…総務省から、停車場と店舗等の建物が別棟と判断できれば、鉄軌道用地と宅地として分けて評価できるという新たな見解が示されており、来年度からルミネビルについて課税評価を見直していきたい。

【行政評価と市民満足度】

質問…基本計画の中の二十七分野において、目標指標が設定されている。その市民満足度はどうなっているか。

部長…市民意識調査を実施し、満足度指標等を基本計画の進行管理に活用している。

質問…今後、その満足度指標にどうアプローチしていくかが大切だ。調査項目のくくり方や市民の年代によって満足度はかわるので、切り込んだ形で満足度を捉えていかなければならないがどうか。

部長…必要に応じ調査項目を追加し調査結果の分析精度を高めることが必要だと考える。

質問…成果というのは行政側が持つ成果ではなく、サービス[illegible]意識をもってお願いしたい。

【行政評価と人事制度】

質問…新人事評価制度の構築にあたり、事務事業の目標に対する実績と人事評価とをリンクさせるべきと思うがどうか。

部長…現在の事務事業評価を人事評価の指標にするには課題があるが、目的達成に貢献した職員の評価はされるべきと考える。

【人材育成】

質問…二〇〇七年問題が言われて久しい。知識や技術が組織として継承されるよう、マニュアルを作成するほか事務事業評価もそのスタイルを考えることができないか。

部長…各課ごとに事務処理のマニュアル化や法解釈等をまとめたハンドブックを作成している。事務事業評価シートがその様なハンドブックの役目を担うのは難しいが、事業の全体像がわかるような評価シートの形態は作り上げたい。

質問…事務事業評価は市長の政策進行をチェックするマネジメントツールであり、有効に活用していただきたいが市長の考えは。

市長…行政評価をいかに生かすかは私の責務・責任である。また一番大切なのは、全職員がこの行政評価をいかに意識するかであり、職員の意識改革を進めることが私のマネジメントであると認識している。

議会を傍聴してみませんか

本会議をはじめ、各委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。

本会議の傍聴

本会議当日に、市役所議会棟入口にある守衛室までおいでください。先着順に傍聴券を交付します。

常任委員会・特別委員会等の傍聴

委員会当日に、本庁舎2階の議会事務局で申し込みをしてください。なお、席に限りがありますので先着順になります。

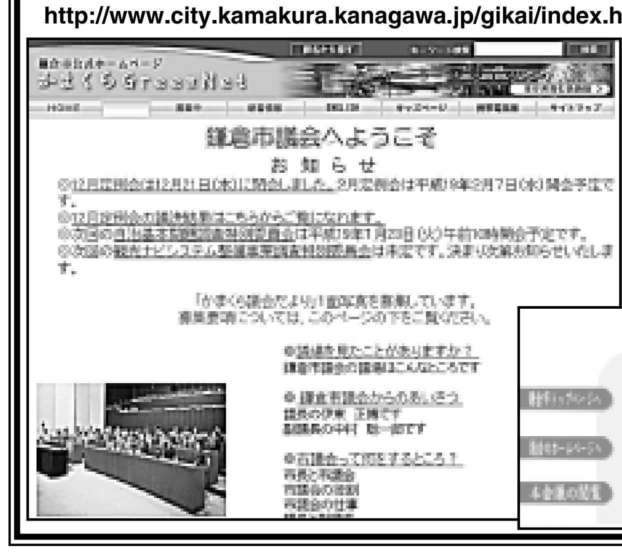
当日の審査内容や審査する順番は委員会の冒頭で確認された後、議会事務局前に掲示されます。

※詳しくは議会事務局まで、電話でお問い合わせください。

TEL：0467(23)3000　内線2448

市議会ホームページ

http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.htm



市議会議員の紹介の他、議会の流れ、傍聴方法、議会の日程などをお知らせしています。

また、本会議や委員会の記録もご覧いただけます。

キーワードなどによる検索ができますのでご活用ください。